



# 全教北九州

新聞 全教北九州  
全教北九州市教職員組合  
2024年12月25日

全教北九州

検索

給与改定交渉・全国一斉定時アクション 特集

この新聞はすべての教職員に配布しています

## 初任給は2万円代後半の大幅引上げ

差額の目安（小中学校教諭のモデル給与）

給料表 (モデル給与)	改善前	改善後	ボーナス 増加分	差額目安
23歳 2級17号給	227,700	254,600 (+26,900)	123,740	365,840
35歳 2級65号級	331,800	348,100 (+16,300)	74,980	221,680
45歳 2級105号	388,000	393,500 (+5,500)	25,300	74,800
55歳 2級145号	406,200	411,500 (+5,300)	24,380	72,080
再任用 教職員 2級	279,400	286,300 (+6,900)	16,560	78,660

### 物価高を上回るにはかなりの賃上げが必要

「新聞全教北九州」9月号でお伝えしたように、官民の労働組合が一体となり展開した社会的な賃金闘争によって、今年度は再任用を含む全世代での賃上げが実現しました。特に初任給は2万円台後半の大幅引き上げとなりました。しかし、この賃上げでも物価高に追いつかず、課題は残ります。数は力です。物価高を上回る賃上げを実現するために、組合にご参加ください。

### 会計年度任用職員の病欠休暇が有給に改善

全教北九州では、会計年度任用職員の処遇改善をさまざまな機会を要求しています。今年度は、会計年度任用職員（スクールサポートスタッフ）場合は、1時間当たり1045円（地域手当を含む）から1177円に132円アップするなど大きな改正がおこなわれます。

12月2日、人事院は、「人事院規則15-15（非常勤職員の勤務時間及び休暇）の運用について」の一部を改正しました。この改正で病欠休暇が有給となりました。全教北九州はこれにもとづいて会計年度任用職員の処遇を改善するよう求めました。あわせて賃上げによる差額は年内に支給することも求めました。

大幅な差額支給でも物価高には追いつかない

給料については、給料表アップ分×9ヵ月分（4月から12月）基礎として、調整額等を含まない額となります。ボーナスは給料表アップ分×4・6月分、再任用の方は給料表アップ分×2・4月分を基礎として調整額等を含まない額となります。したがって、各種手当などが加算された支給額はさらに多くなると考えられます。（控除額がありますので個人により変わります）

これだけの大幅な差額支給は約30年ぶりとなります。差額支給が年内にできない自治体もあるようですが、北九州市は12月25日支給に向け動いているようです。

しかし、物価に目をやるとガソリンなど補助金の額が下げられたため、早くも小売り価格が5円以上値上がりしています。灯油も18リットルで2000円以上となっています。野菜の高騰も続いています。米も5Kで2千円台から3千円台へと上がっています。今回の賃上げでも物価上昇を上回ることはできていません。

2025年の春闘に向け、官民一体で物価高を上回る賃金引き上げの世論を盛り上げていかなくてはなりません。



Webでお見積



### 北九州の戦争遺跡

#### 小倉造兵廠⑦ (小倉北区)

#### 戦後の造兵廠

戦争が終わると造兵廠とその周辺は米軍に接収されました。陸軍は造兵廠の精算業務のため「陸軍小倉造兵廠残務整理部」を技能者養成所内に開設し、復員、給与支払、未使用の資材売却などを実施しました。また保管していた食糧・衣料が略奪される事件も発生しています。46年5月に第24歩兵師団が進駐すると、本部庁舎に師団司令部を開設しました。49年、小倉市役所庁舎が接収解除となり開始しました。50年に朝鮮戦争が始まると、造兵廠は米軍の工場として利用されました。59年に接収が全面解除されると翌60年、「市制60周年記念ゆびく北九州小倉大博覧会」会場となりました。閉幕後、北側に西小倉小学校（63年）、小倉警察署（65年）、小倉北警察署（63年）、勝山公園（70年）、中央図書館（75年）等が設置されました。南側は主に工業用地として利用されましたが、現在は商業地や住宅地として利用されています。

# いまどきの高校生は何を考えている？

## 11/30 北九州民教研「子どもとおとなの楽しいひろば」

北九州民教研は、教員、保護者に限らず教育に関心のあるみなさんと幅広くつながり子どもと教育をめぐる課題と一緒に考える団体で、全教北九州も参加しています。

「そもそも今どきの高校生はどんなことを考えているんだろう」と「子どもとおとなの楽しいひろば」の会議で話題に上がり、できるだけジェネレーションギャップを埋めたいと考え、高校生の話を聞く企画が持ち上がりました。

そして11月30日(土)に市内で「僕だけの正解をいざ探しにゆくんだ」と題して今年の「子どもとおとなの楽しいひろば」を開催しました。テーマの「僕だけの」は、2018年のN



HK18歳フェス」のためにつくられたRADWINPSの「正解」の一節です。高校生たちと参加者がお互いに見知った仲ということもあり、安心して自分の考えや思いを話してくれました。

今回参加してくれた高校生は「公立定時制」「公立全日制」「公立定時制だが登校日が少ない高校」「通信制」に通っていて、それぞれ1日の過ごし方も違います。以前であれば、「全日制」か「定時制」しかなかった高校も、今では選択肢が増え、子どもたちが自分のニーズに合わせて選ぶことができるようになっていること、そして勉強の内容も、進学や就職にとらわれず、自己実現のために必要な時間を費やすことができるようになってきていることがわかりました。

彼らにとつては、部活動やおしゃれやボランティア活動、ダンスや読書・家族とのディスカッションなども、単なる余暇のごし方ではなく、自己実現のひとつなのだと納得しました。子どもたちがいろいろ試行錯誤しながら、「自分だけの正解」を探していつてほしいと心から思いました。

## みんなで定時に帰ろう

### 11/27 全教「全国一斉定時アクション」に参加

11月21日、全教(全日本教職員組合)は、文科省案も財務省案もまったく不十分、現場の実態から、両省の案の問題点と限界を明らかにして、教職員の基礎定数改善や、教職調整額を本給であると確認した上で実際に生じた時間外勤務について残業代を支給する仕組みの実現、教育予算増を求める声を学校現場から上げるとりくみとして、「全国一斉定時アクション」をおこなうことを発表しました。全教北九州では、とりくみに使用するチラシ、グッズなどを毎月発送する定例会資料、組合新聞とは別便で組合員のみなごみの中から出来そうなものをお願いしました。

- ① チラシを組合の掲示板に張り出す。
- ② 三角柱を机上に立てる。
- ③ チラシの裏面にメッセージを書いて写真を撮り、X(旧Twitter)にポストする、または組合へ送信する。
- ④ 定時になったら分会・職場で集会やお茶会をひらく。
- ⑤ 定例会でとりくみの報告・交流する。

行動出来た職場は約4分の1でした。定例会の参加を含め、3分の1以上の組合員がこの行動しました。組合員でない先生が参加されたとの報告も来ています。参加されたみなさんのご協力に感謝いたします。

執行委員長の分会では定時退勤した後、職場カフェを5人で開催。楽しい時間を過ごせたと報告がありました。

中学校の組合員は、学年に11月27日の予定表に「定時退校」を呼びかけていました。

書記長の学校では、各自定時に名前も書くそうです。

次は、1月15日(水)に次の全国一斉アクションがあります。通常国会開会前に当事者である教職員が文科省案や財務省案では、教員の長時間過密労働も教員が足りない事態の解決できず、学校がもたないということを社会にアピールすることが目的です。とりくみの詳細は12月の定例会でお知らせします。

# 全国215万の願いよどびせ!

## 12/6 全国教育署名集約集会

12月6日(金)、今年度の教育全国署名集約集会を都内で開催しました。全教北九州から1名と保護者代表1名が参加しました。集約集会時点の筆数は、前年度を2万筆以上上回る215万1888筆でした。

集約集会に先駆けて行われた議員要請行動では、13人の議員(自民1、立憲4、国民1、維新1、共産5、れいわ1)が直接要請に対応しました。紹介議員には36人(立憲19、国民4、共産9、れいわ1、無所属ほか3)が応諾しました。

議員からのメッセージ

世界で非常に低いランクの日本の教育予算。先進主要七ヶ国

の中では、見るにたえない位置にあります。人こそ、教育こそ、学びこそ日本という国の公的責務として「宝」にして予算を投じるべきです。連帯します。

(立憲民主党 鎌田さゆり 衆議院議員)

皆様の取り組みに敬意を表します。ご存知のようにOECD諸国の中でわが国の教育の公的支出がワースト3位です。「資源」の少ないわが国では、特に人材を育てることが大事ですし、児童・生徒ご本人の「学び」を伸ばして将来活躍してもらうことが大切です。皆様のご意見に賛同いたします。(国民民主党 芳賀道也 参議院議員)